

申請準備ワークシート 記入例

事業名「協定福祉避難所」の機器整備

※細枠内：事業内容の検討にあたっての準備のための項目です。
太枠内：インターネット申請画面（Google フォーム）で実際にご入力いただく項目です。
（ご記入は任意です。ご記入・ご提出いただいた場合は審査の参考資料とします）

「協定福祉避難所」の機器整備事業の場合

①と⑤がつながるように心がけてご記入ください

1 取り組みたい課題（現状はどうなっているのか？）

高齢や障害などにより特別な配慮を必要とする方々は、災害発生時に直接の被害だけでなく、必ずしも生活環境が十分に整備されたとはいえない避難所での生活を余儀なくされた結果として、健康を害し、復旧・復興に向けての生活再建フェーズへの移行に課題が生じるケースも少なくない。異常気象による豪雨災害の激甚化が進む昨今に対し、過去に台風被害を経験している当地域において福祉避難所の受け入れ態勢を整えることは喫緊の課題である。

2 原因と解決策（どういった論理で、事業内容を考えたか？）

<原因>

- 市と福祉避難所開設に関し協定を締結しているものの、地域の要配慮者受け入れ時の施設運営に必要な資機材を準備できていない。

<解決策>

- ・施設運営に必要な電力を賄うための設備を整備する
- ・当施設まで自力での避難が困難な方への移動支援のための車両を整備する

5 事業目的（中長期的、最終的にどのような状態を目指すか？） 270 文字以内（スペース含む）

令和●年●月の台風被害により近隣市町に繋がる道路が冠水し●●市は陸の孤島と化した経験があり、発災時の備えに向け市全体で取り組みを強化しつつある。当法人は協定福祉避難所であるもののハード面の備えが万全とは言い難い状況にある。建物内には多目的ホールを備え、被災地域への支援・避難拠点となるための十分な広さを有する。発災時に要配慮者の避難をサポートするための移動支援に用いるEVおよびV2Hの導入により停電時の電源を確保し、照明や空調機器を稼働できる環境で安心安全な避難生活を送るための一助とする計画である。

以下の2点について、社会的背景や解決したい課題を踏まえて270文字以内で記入してください。

1. 本事業の実施によって団体が実現しようとする事
2. 本事業の実施によって期待される波及効果

3 事業内容（助成金を使って行う事業・活動の内容） 700 文字以内（スペース含む）

1. 施設形態：協定福祉避難所
2. 整備機器：EV 1台、V2H
3. 施設名称：デイサービスセンター「あかさか」
4. 整備場所：東京都港区赤坂1-2-2
5. 定員：15名

助成金を使って行う事業・活動の内容を700文字以内で記入してください。どこで、いつ、誰を対象に何を行うのかが明確にわかるよう、記入例をご参照のうえ、必要項目すべてについて記入してください。具体的な数字も含めて記入してください。

番号の振り方等の体裁は、記入例に必ず従ってください。
1、2、a、b などの英数字は半角で、「.」「~」「:」「()」などの記号は全角でご記入ください。

該当する項目はすべてご記入ください。

4 事業目標（単年度の事業の成果を、何の指標で回り、どこまで達成したいか？） 700 文字以内（スペース含む）

EVおよびV2Hを事業スケジュールに沿って整備し、協定福祉避難所としての準備体制を整える。事業所スタッフや平時の施設利用者に加え、近隣住民のうち発災時に当施設への避難が見込まれる方々と共同で避難訓練を行い、避難経路の確認や受入デモンストレーションを実施し課題を抽出のうえ解決方法を検討する。また、市内の約20の医療・福祉事業者が参画する「●●市医療福祉連絡会」において上記訓練を事例として発表し、知識の共有を図る。

事業目的を将来実現するための事業目標として、以下の2点を明確に700文字以内で記入してください。

- (1) 1年後の事業完了時点の到達目標として、何をどういう状態にするのか？
(例えば、受益者にもたらされる状態や当初からの変化)
- (2) (1)の事業成果を測定する際の根拠
(どのように確認するのか？ 数値目標がある場合、どのような方法で成果測定するのか？)

事業目的、事業目標、事業内容の検討にあたっては、募集要項の「9.審査の視点」をご参照ください。ご申請いただいた事業において、審査の視点がどれだけ満たされているか総合的に判断し、審査を行います。